

風疹と胎児への影響

声なき 感染症 を 知る

54

(7月末ごろから関東地方で風疹の届出数が大幅に増加しています。患者の中心は30代～50代前半の男性で、女性は20～30代が多くなっています。風疹は、小児や成人が感

レンバ節の腫れが現われます。ウイルスに感染しても症状がない人（不顯性感染）が30%程度いることがあります。風疹ウイルスは、患者の飛沫（唾液のしぶき）などによって広

抗体は十分あるのに妊娠中に不顕性感染し、先天性風疹症候群の赤ちゃんが生まれることが報告されています。前回の流行(平成24～25年)に伴つて生まれた先天性風疹

今回の風疹流行の中心は、30～50代前半の男性で、これは前の流行の時と変わっていません。この世代の男性は、当時のワクチンの制度により、今のような2回のワクチ

胎児にも感染し、先天性風疹症候群（CRS）といわれる障がいを持つた赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。まれに、母親は風疹に対する

前回の流行での調査では、先天性風疹症候群は、赤ちゃんは、出生後半年までにおよそ4人に1人が亡くなっています。▽ワクチンの重要性

イルスは患者の唾液中に大量に排泄されることから、妊娠を希望する女性の周囲の方々もワクチンの接種を行うことが重要です。

4-22-3051) 等
へお問い合わせください。
い。

きました。今回は、遊びで
関東で流行し、愛知県など
多くなり、徐々に関西でも
増えてきています。流行り
している時期には、人気の
みは避けた方がよいと考

県感染症情報センター

たは県立医科大学付属病院感染制御内科外来（接

くなります。前の流行でも関西の都市で流行が始ま

男性を中心に流行中
妊婦の周囲も予防を

聴・心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の障がいが現れる可能性があることです。今回は風疹について、胎児への影響を中心にお話ししま

風疹ウイルスに感染後、2～3週間の潜伏期を経て、発疹、発熱、

妊娠初期(CRS)

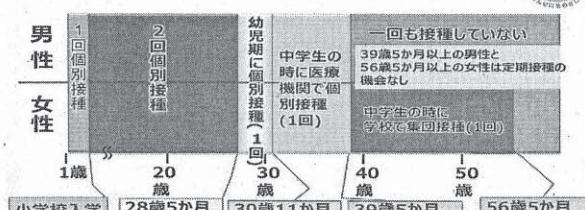
期
(妊娠20週以

しれません。その中には、問題のない赤ちゃんもいたと考えられます。また、

は妊娠前に2回のワクチン接種を済ませておくことが大切です。また、ウ

話0746-
700) ま

風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係
(平成20(2018)年2月1日時点)



国立感染症研究所感染症疫学センター「風疹急増に関する緊急情報」(2018年9月19日現在)から